

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第51回 ビジネス文書実務検定試験 (26. 6. 29)

# 第1級

## 速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

### 〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

### 〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

## 第51回 ビジネス文書実務検定試験 (26. 6. 29)

## 第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

昨年、ユネスコの無形文化遺産に和食が登録された。海外では天ぷらや寿司などの人気が高く、健康的な料理としても認知されている。この登録は料理そのものでなく、日本人が古くから受け継いできた食文化が対象となっている。おせち料理をはじめとした行事食や季節感のある盛り付けなど、これまで築き上げてきた食に関する文化が高く評価された。	30 60 90 120 150 162
日本列島は、四季がはっきりしており、様々な食材をもたらしてくれる。和食には、これらの味わいを生かすための工夫がある。その中でダシは、みそ汁や煮物などに使われ、味を決める大切なものだ。また、一汁三菜の組み合わせは、ご飯に汁物と三品のおかずを加えた和食の基本形だ。魚も野菜も食べられるので、様々な栄養素の摂取が可能となる。この形は、PFC（三大栄養素）バランスを理想的な数値にしやすい、素晴らしい食文化である。	192 222 252 282 312 342 367
だが、私たちの食卓を見ると欧米化が進むばかりで、日本国内では和食離れが課題になっている。ある調査の結果によると、子どもたちの好きな料理としては、和食はほとんど挙がらずに洋食が上位を占めた。また、私たちの生活スタイルが変化して、食事は家でしても調理はしない家庭が増加している。この状態が続けば、子どもたちに日本の食文化が伝わらない可能性がある。	397 427 457 487 517 540
日本人は、豊かな自然に恵まれていることを生かし、世界に自慢できる食文化を大切に育んできた。今後も確実に受け継ぐには、子どもたちと作ったり、食べたりする場面を提供することが重要である。そこで、農林水産省では中高生向けのガイドブックを作成し、普及と啓発に取り組んでいる。健康の面から考えても、この和食の素晴らしさを次の世代に伝えていくべきだ。	570 600 630 660 690 710